



育成目標「心豊かに自ら創りだす子」  
卒園目標「すすんで遊びをつくる子」

～安東中学校区育成目標～

静岡市こども園におけるESDの推進  
～well being～  
「環境を通して行う教育」

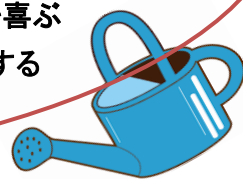
### 重点目標「やってみよう もっとやってみよう」

～探究の芽を育む～

【目指す子どもの姿】

- 5歳児：“自分ならできる”“きつとうまいく”と友達と支え合いながら自分たちの遊びや生活を創り出す
- 4歳児：“いいこと考えた”“こうしたい”“こんなはずじゃなかった”溢れる思いを響かせる
- 3歳児：大好きがいっぱい！“やってみよう”“もう1回”“いっしょだね”を味わう
- 2歳児：“モノ・ヒト・コト”と関わり、“わくわく”“おもしろい”“じぶんってすごい”を感じる
- 1歳児：“やりたい”“じぶんで”“もっと”の思いを表しながら、応答的な触れ合いを喜ぶ
- 0歳児：“これなあに”“きもちいい”心地よさを感じながら、感覚の働きを豊かにする

明日も来たいと思える今日を創る・子どもが創る園生活



#### ◇知識及び技能の基礎

多様な視点で物事を捉え、他者の考えも尊重し、  
はつらつと遊ぶ子

#### ◇思考力、判断力、表現力の基礎

自分を取り巻く世界（モノ・ヒト・コト）へ関わり  
ながら豊かな言語を育み、粘り強く行動する子

#### ◇学びに向かう力、人間性等

自分とは行動・態度、考え方や生育環境等の異なる他者と  
対話したり、協同したりしながら、心豊かに生活する子

#### 心身共に健康で保育を楽しむ職員集団

～安心と挑戦～

- ・チームで対応できる組織体制(柔軟な対応、スピード感)
- ・実効性の確認と3M(ムリ・ムダ・ムラ)の修正
- ・自分で決める力を鍛える
- ・根拠を理解し、納得し合える説明力

#### どの子ども安心できる居場所づくり

～インクルーシブ保育～

- ・多様な子どもたちを認め合う風土  
(異なる集団生活の経験、支援が必要な園児、保護者の生活形態が異なる学級経営、在留外国人、日本語の習得に困難のある園児)
- ・在園時間の違い配慮(6つの異なる認定児が在籍)保護者のニーズに応じた伝達方法や語り合い

#### 子どもの育ちの過程を共有し合える 保護者との関係づくり

～結果よりもプロセスを～

- ・気持ちや様子⇒背景を捉える
- ・スモールステップで育ちを捉えながら語り合う
- ・多様な視点で多面的に子どもの良さ(得意)を捉える
- ・子育てや教育に対しての意識の高さに見合うものを提供
- ・気持ちのよい挨拶や返事の習慣化

自発的な活動としての遊びを通して

自己内対話 × 他者対話

自己有用感

探究心

#### 子どもの育ちと学びをつなぐ ～その後の教育との接続～

- ・安東中学区コンセプト一体型の連携と接続
- ・葵区拠点園公開保育
- ・直接的・具体的な体験を通じた学び
- ・引く援助と引き算の環境
- ・身体の諸感覚を働かせた多様な体験  
(歌とリズム・体操・伝承遊び・巧技台等の活用)

もっと

好奇心

つまづき葛藤

自己効力感

一体感

経験

達成感

#### 創立95年の歩みと共に

～積み上げてきたものを再確認～

- ・教育的意図を基に配置した環境構成  
(遊具や用具、絵本、図鑑、情報機器)
- ・園庭の自然環境を活かした遊び(木々の変化・四季を感じるガーデン・育てて収穫したものをクッキングに)
- ・子どもの興味、関心が生まれる絵本コーナー作り
- ・準備から片付けまで
- ・四季を感じる伝統・文化的行事(豊かさのある体験)

#### 地域の教育力を活かす

～地域を知り、地域とつながり、遊びや生活に取り入れる～

- ・同じ場所に繰り返し出掛ける
- ・歴史や文化、豊かな自然を季節ごとを感じる
- ・人の温かさに触れる  
(城北公園・熊野神社・城東福祉エリア・浅間神社・駿府城公園・城北高校・中央図書館・アイセル 21・老人会・老人福祉施設・安東小・安東中・静岡高・専門学校生・連携園・環境教育・誕生会出し物)

出会い

自己肯定感

満足

興味関心

疑問

安心